

## 【研究に関する情報】

研究課題名	リン酸修飾したアレルゲンとアレルギー疾患発症者の血清 IgE 抗体との反応性の検証および交差反応性プロファイルの作成
研究責任者	<所属(診療科等)>小児アレルギーセンター <職名・氏名>センター長 伊藤靖典  (研究代表者) 信州大学農学部生命機能科学コース 教授 片山茂
研究期間	2022年9月16日(倫理委員会承認日)～2024年3月31日
研究の目的	食物アレルギーの中でも耐性を獲得しにくいソバアレルギーについて、原因タンパク質(アレルゲン)である Fag e 2 のリン酸修飾体がアレルギー性を低減させることや、動物モデルのアレルギー症状を抑制させることを見出しました。しかし、本手法がソバ以外のアレルゲンに応用可能であるかは不明です。 本研究ではアレルギー疾患発症者の血清 IgE とリン酸修飾アレルゲンとの反応性を測定し、リン酸修飾が食物アレルゲンの抗体結合能に及ぼす影響を検討します。併せて、アレルゲンが判明している患者血清と様々なアレルゲンの交差反応性プロファイルを作成し、単一のリン酸修飾アレルゲンによって交差性の高い複数のアレルギーに対して免疫寛容誘導が得られるかを検討します。
研究の方法	<対象となる患者さん> 2022年4月1日～2024年3月31日までの期間に当院小児科を受診し、以下の選択基準を満たす患者さん。 ① 何らかの食物アレルギーの診療のため当科を受診した方 ② 既に診療の一環として血液検査が実施されており、追加解析に必要な量の血清が院内検査科に保存されている方  <利用する試料および情報> 利用する診療記録 (1) 被験者背景：年齢、性別、アレルギー疾患合併の有無 (2) アレルギーの原因抗原、アレルギー症状のタイプ (3) 白血球数、末梢血好酸球分画、数、血清総 IgE 値、抗原特異的 IgE 利用する検体：残血清  <利用する者の範囲> 試料・情報は、信州大学農学部生命機能科学コースで利用します。

<b>問い合わせ先</b>	<p>この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料または情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。</p> <p>なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が特定の個人を識別することができないように加工している場合は、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。</p> <p>&lt;研究責任者&gt;</p> <p>長野県立こども病院 小児アレルギーセンター センター長 伊藤靖典 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432</p>
---------------	---